

みずほCustomer Desk Report 2016/04/18号(As of 2016/04/15)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	109.74
TKY 9:00AM	109.35	1.1265	123.17	0.9668	1.4142	0.7690
SYD-NY High	109.74	1.1317	123.57	0.9688	1.4242	0.7735
SYD-NY Low	108.60	1.1246	122.61	0.9649	1.4134	0.7681
NY 5:00 PM	108.78	1.1281	122.74	0.9682	1.4212	0.7727
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.22/11.63		△25RR	1.115	Yen Call Over	
NY DOW	17,897.46	▲ 28.97	債券市場			
NASDAQ	4,938.22	▲ 7.67	日本2年債	-0.2480	1.4bp	
S&P	2,080.73	▲ 2.05	日本10年債	-0.1150	▲ 2.3bp	
日経平均	16,848.03	▲ 63.02	米国2年債	0.7335	▲ 3.3bp	
TOPIX	1,361.40	▲ 9.95	米国5年債	1.2108	▲ 3.9bp	
シカゴ日経先物	16,650	▲ 195.00	米国10年債	1.7518	▲ 4.0bp	
ロンドンFT	6,343.75	▲ 21.35	独10年債	0.1270	▲ 4.0bp	
DAX	10,051.57	▲ 42.08	英10年債	1.4140	▲ 3.6bp	
ハンセン指数	21,316.47	▲ 21.34	豪10年債	2.5560	3.4bp	
上海総合	3,078.12	▲ 4.25	為替市況	USD/CNH	6.4860	▲ 0.0068
USDJPY 3M Vol	11.28	0.30%	商品市況	ドルインデックス	94.70	▲ 0.21
USDJPY 6M Vol	10.87	0.23%	CRB指数	173.636	▲ 1.14	
EURJPY 3M Vol	11.96	0.20%	NY金	1,234.600	8.10	
EURJPY 6M Vol	11.44	0.09%	WTI	40.360	▲ 1.14	
			Dubai Spot	39.27	▲ 1.13	

東京	東京時間のドル円は109.35レベルでオープン。前日大きく上昇した反動から日経平均株価が200円近く下落して寄り付くも、その後急速に下げ幅を縮小する動きに、ドル円は109.70近辺まで上昇。その後109.60近辺までやや押し戻されるも、発表された中国経済指標が1-3月期GDP(前年比)6.7%(予想6.7%)、固定資産投資(前年比)10.7%(予想10.3%)、鉱工業生産(前年比)6.8%(予想5.9%)、小売売上高(前年比)10.5%(予想10.4%)と総じて強めの数字に、ドル円は109.74まで再度上昇。しかし109.70近辺の上値の重さが意識されると、戻り売り優勢の地合となり、109.60近辺まで反落。午後に入り下げ足を速めると、109.41まで下落して109.44レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は109.44レベルでオープン。本日午後のG20財務相・中央銀行総裁の声明発表、米経済指標の発表、17日の主要産油国合会を控え、調整のドル売りが散見され118.79安値を付けた。108.88レベルにてニューヨークへ渡った。ユーロは1.1270レベルでオープン。ユーロ圏2月貿易収支は190億ユーロの黒字(前回62億)と発表されるも市場への影響は限定的。全般的なドル売り地合にユーロは1.1288まで買われ1.1285レベルにてニューヨークへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	インのエネルギー相が今週末の原油産油国会議に出席しないことを表明し、市場でも今週末の会議で増産凍結が決定することは無いとの見方から原油相場が下落する動きにドル売り・円買い戻しが強まり、108.88レベルでNYオープン。朝方は4月NY連銀製造業景気指数が予想を上回ったことから109.05まで戻すが、続いて発表の3月鉱工業生産が予想以上に悪化し、前回分も下方修正されたことや、4月シカゴ大学消費者マインドにおいて先行の景況感が前回から低下したこと等から予想を下回り、ドル売り優勢となり108.61まで下落。その後はマイクス圏で推移していたダウが横ばいまで戻す展開に108.85まで反発するが、その後は再度ドル売りが強まったことから108.60まで下落。午後は狭いレンジでの推移が続き、108.78レベルでクロスした。一方、海外市場でドル売りが優勢となったことから1.1288まで戻したユーロは、1.1285レベルでNYオープン。朝方はドル買いが先行したことから1.1272まで下落するが、鉱工業生産、シカゴ大学消費者マインドの結果を受けたドル売りに1.1317まで上昇。午後は新規材料に欠ける中、週末を控えた調整から1.1281まで反落し、同レベルでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 森谷・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月15日		G20財務相・中銀総裁会議(14日)	-	-
	11:00	中 鉱工業生産(前年比/年初来前年比)	3月 6.8%/5.8%	5.9%/5.5%
	11:00	中 小売売上高(前年比/年初来前年比)	3月 10.5%/10.3%	10.4%/10.2%
	11:00	中 GDP(前年比)	1Q 6.7%	6.7%
	13:30	日 鉱工業生産(確報、前月比/前年比)	2月 -5.2%/-1.2%	-/-
	18:00	欧 貿易収支(季節前/季節後)	2月 19.0B/20.2B	-/21.5B
	21:30	米 ニューヨーク連銀製造業景気指数	4月 9.56	2.00
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	3月 -0.8%	-0.1%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド(速報)	4月 89.7	92.0
4月16日	1:50	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-

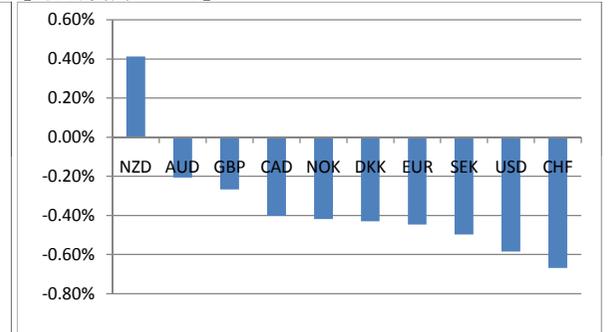
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月18日	21:30	米 ダドリー・NY連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.50-108.80	1.1240-1.1360	121.80-122.80

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日夜海外時間のドル円相場は軟調推移となった。17日の産油国合会を前にしたポジション調整や、米4月シカゴ大学消費者マインドの市場予想比弱い結果を受けて一時108.60まで下落。注目された産油国合会では増産凍結が決定されなかったことから原油価格は軟調推移となると考えられ、リスク回避の円買いが強まりやすいだろう。また、G20では「競争的な通貨切り下げを回避」することが改めて表明されており、介入警戒感が薄らいだこともドル円の上値を押さえる材料として意識されるだろう。